

| | | | | |
|-----------|---|--|---------------------|-----------|
| 地001 | 項目名 | 人材誘致・定住促進対策事業費 | 新規事業 | |
| 予算書項目 | 総合企画費 | ページ | 173 | |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 地域振興課 | |
| 会計名 | 事業の概要 | | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】移住定住促進係 0857-20-3184 | | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】3201 | | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の経過及び背景】 | | | |
| 目 企画費 | 移住に関する各種情報の収集、発信を強化するとともに、相談者へのきめ細やかで親身な対応を行うため、平成18年に「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」を設置し、専任相談員を配置した。それ以降も、首都圏・関西圏への相談員の配置や、「鳥取市移住・交流情報ガーデン」の設置、お試し住宅の整備・拡充、新築・改修への住宅補助、「Uターン支援登録制度」などの施策の実施により、移住定住の促進を図ってきた。 | | | |
| (単位:千円) | 【事業の目的及び効果】 | | | |
| 前年度当初予算額 | 46,411 | 官民連携や広域連携などの手法も取り入れながら、移住希望者に対し、就業・生活・住宅等の情報提供や相談を行い、「選ばれるまち、住みたいまち」となるよう、総合的・戦略的に移住定住に取り組む。 | | |
| 本年度要求額 | 59,782 | 【事業の内容・実績】 | | |
| 総務部長段階査定額 | 50,640 | 1. 移住定住相談員の配置による相談対応及び情報発信 | | |
| 市長段階査定額 | 50,640 | 2. 無料職業紹介事業 | | |
| 区分 | 本年度予算額 | 3. 移住・交流情報ガーデン設置事業 | | |
| 国・県支出金 | 7,100 | 4. 首都圏・関西圏移住定住相談員設置事業 | | |
| 地方債 | 0 | 5. ふるさと鳥取市・回帰戦略連絡事業 | | |
| その他 | 12,183 | 6. お試し定住体験事業 | | |
| 一般財源 | 31,357 | 7. 移住定住空き家運営事業 | | |
| 計 | 50,640 | 8. 移住促進のための各種補助事業 | | |
| | | 9. 連携中枢都市圏による移住の取組 | | |
| | | ＜実績＞ | | |
| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
| | | 1,429件 | 1,204件 | 1,109件 |
| | | 484世帯 | 447世帯 | 515世帯 |
| | | 178世帯326人 | 119世帯188人 | 371世帯487人 |
| | | ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。 その他財源の諸収入は、お試し定住体験施設体験料。 | | |
| 行財政改革課処理欄 | | | | |

| | | | | | | |
|-----------|---|--|---------------------|------|--------|--------------|
| 地002 | 項目名 | 輝く中山間地域創出事業費 | 新規事業 | | | |
| 予算書項目 | 地域振興対策費 | ページ | 173 | | | |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 地域振興課 | | | |
| 会計名 | 事業の概要 | | | | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】振興係 0857-20-3185 | | | | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】3202 | | | | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の目的及び効果】 | | | | | |
| 目 企画費 | 中山間地域の活性化に向けて住民等が自ら創意工夫を凝らして取り組む活性化計画の策定及び計画に基づくソフト事業の実施や中山間地域の資源を活用したむらとまちの相互の活性化につながる交流の取組みを支援する。 | | | | | |
| (単位:千円) | 【事業の内容・実績】 | | | | | |
| 前年度当初予算額 | 8,800 | ＜補助金交付＞ | | | | |
| 本年度要求額 | 7,840 | ○計画策定 : 補助率10/10、補助金上限 100千円 | | | | |
| 総務部長段階査定額 | 6,240 | ○ソフト事業 : 補助率 8/10、補助金上限 2,000千円 (最大3年間、累計2,000千円上限) | | | | |
| 市長段階査定額 | 6,240 | ○里山交流 : 補助率10/10、補助金上限 100千円 (最大3年間) | | | | |
| 区分 | 本年度予算額 | ＜実績＞ | | | | |
| 国・県支出金 | 708 | 計画策定 | ソフト事業 | 里山交流 | 事業費計 | |
| 地方債 | 2,700 | 平成28年度 | 1団体 | 16団体 | 1交流2団体 | 8,605千円 |
| その他 | 2,000 | 平成29年度 | 2団体 | 9団体 | 1交流2団体 | 4,771千円 |
| 一般財源 | 832 | 平成30年度 | 2団体 | 8団体 | 1交流2団体 | 3,520千円 (見込) |
| 計 | 6,240 | 【今後の取り組み】 | | | | |
| | | 住民自ら地域課題を検討・協議しまちづくりに取り組む契機となっている。より効果的な事業展開及び継続した活動となるよう引き続き支援する。 | | | | |
| | | ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。 | | | | |
| 行財政改革課処理欄 | | | | | | |

| | | | |
|-----------|--|--|---------------------|
| 地003 | 項目名 | 中山間地域・買い物支援事業費 | 新規事業 |
| 予算書項目 | 地域振興対策費 | ページ | 173 |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 地域振興課 |
| 会計名 | 事業の概要 | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】 振興係 0857-20-3185 | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】 3202 | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の経過及び背景】 | | |
| 目 企画費 | 中山間地域における小売店廃業やバス路線の縮小に伴う買い物困難地域の解消を図るため、平成24年度に県補助事業を活用して鳥取市中山間地域・買い物支援事業補助金交付要綱を制定した。平成26年度には佐治地域で移動販売車と見守り活動を組み合わせた買い物福祉サービスモデル事業を開始、平成29年度からは地域拡大して支援している。 | | |
| (単位:千円) | 【事業の目的及び効果】 | | |
| 前年度当初予算額 | 16,101 | 本市の中山間地域において、移動販売車等の買い物支援に係る取組や、移動販売と見守りを組み合わせた買い物福祉サービスの取組を支援することにより、買い物困難地域における買い物環境の改善を図るとともに、住民が中山間地域で安心して暮らすための環境づくりを目指す。 | |
| 本年度要求額 | 7,859 | 【事業の内容・実績】 | |
| 総務部長段階査定額 | 7,859 | ＜補助金交付＞ | |
| 市長段階査定額 | 7,859 | 導入助成 補助率 8/10(県1/2、市3/10) 補助金上限8,000千円 | |
| 区分 | 本年度予算額 | 運営助成 補助率 中小企業基本法で定める中小企業者等 10/10(県1/2、市1/2) | |
| 国・県支出金 | 3,918 | 上記以外の者 1年次8/10、2年次2/3、3年次1/3ほか | |
| 地方債 | 1,600 | 補助金上限2,000千円 | |
| その他 | 0 | 買物福祉 補助率 10/10(県1/2、市1/2) 補助金上限3,700千円 | |
| 一般財源 | 2,341 | ＜実績＞ | |
| 計 | 7,859 | 導入支援 運営支援 買物福祉 事業費計 | |
| 行財政改革課処理欄 | | 平成28年度 1件 5件 1件 7,316千円 | |
| | | 平成29年度 1件 2件 5件 11,166千円 | |
| | | 平成30年度 1件 2件 3件 8,894千円 (見込) | |

| | | | | |
|-----------|--|---|------|-------|
| 地004 | 項目名 | 若者定住等による中山間地域小規模高齢化集落活性化対策事業費 | 新規事業 | ○ |
| 予算書項目 | 地域振興対策費 | ページ | 173 | 所 属 名 |
| 年度 | H31 | 企画推進部地域振興局 地域振興課 | | |
| 会計名 | 事業の概要 | | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】 振興係 0857-20-3185 | | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】 3202 | | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の経過及び背景】 | | | |
| 目 企画費 | 全国的に人口減少や少子高齢化が進むなか、中山間地域では生活の利便性や働く場所を求めて大都市圏等への転出が増加し、集落の小型化・高齢化が進行し維持が困難になりつつある現状がある。 | | | |
| (単位:千円) | 中山間地域に暮らす人たちが、住み続けたいと思える安全・安心で活気のある地域、そして都会に暮らす人たちが移り住んでみたいと思える魅力ある地域となるよう対策を推進する必要がある。 | | | |
| 前年度当初予算額 | 0 | 【事業の目的及び効果】 | | |
| 本年度要求額 | 400 | 中山間地域における集落の過疎化の進行に歯止めをかけ、将来に向けてその解消を図るため、小規模高齢化集落等において、将来の集落を担う新たな人材とされる移住者を確保するとともに、小規模高齢化集落等を含む地域が一体となって取り組む集落再生・地域活性化に向けた取組を支援する。 | | |
| 総務部長段階査定額 | 400 | 【事業の内容】 | | |
| 市長段階査定額 | 400 | ＜補助金交付＞ | | |
| 区分 | 本年度予算額 | 地域プラン策定支援 補助率10/10(県2/3、市1/3)、補助金上限200千円 | | |
| 国・県支出金 | 266 | | | |
| 地方債 | 0 | | | |
| その他 | 0 | | | |
| 一般財源 | 134 | | | |
| 計 | 400 | | | |
| 行財政改革課処理欄 | | | | |

| | | | |
|-----------|--|---|---------------------|
| 地005 | 項目名 | 地域おこし協力隊事業費 | 新規事業 |
| 予算書項目 | 新市域特別振興費 | ページ | 173 |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 地域振興課 |
| 会計名 | 事業の概要 | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】 振興係 0857-20-3184 | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】 3202 | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の目的及び効果】 都市住民を受け入れ「地域おこし協力隊」として委嘱し、一定期間地域に居住して農林漁業の応援や生活支援などの地域協力活動に従事してもらいながら地域への定住・定着を図る。 | | |
| 目 企画費 | 【事業の経過及び背景】 平成26年度より配置を進め、地域の様々な課題解決のための各種取り組みを促進することにより地域活性化を図っている。平成30年度末時点で、任期を終了した隊員12名のうち9名が引き続き、本市に定住している。 | | |
| (単位:千円) | 【事業の内容・実績】 吉岡温泉地区に地域おこし協力隊を1名配置する。 隊員の任務(予定) ①吉岡温泉町の活性化に寄与する活動 ②外部目線で吉岡温泉町の地域資源を検証し活用する活動 ③吉岡温泉街のまち歩き企画の開発及び情報発信に関する活動 ④地域行事やイベントなど、コミュニティ活動の応援 ⑤空き店舗・空き旅館を使つての活性化事業の検討・活動 など | | |
| 前年度当初予算額 | 796 | ＜実績＞ 平成28年度 2名配置(自転車を使った周遊観光、山のエコツーリズム) 平成29年度 2名配置(自転車を使った周遊観光、山のエコツーリズム) 平成30年度 1名配置(山のエコツーリズム<H30.5月末まで>) | |
| 本年度要求額 | 4,157 | 【市民ニーズの状況】 吉岡温泉町自治会からの要望 | |
| 総務部長段階査定額 | 4,030 | 行財政改革課処理欄 | |
| 市長段階査定額 | 4,030 | 行財政改革課処理欄 | |
| 区分 | 本年度予算額 | 行財政改革課処理欄 | |
| 国・県支出金 | 0 | 行財政改革課処理欄 | |
| 地方債 | 0 | 行財政改革課処理欄 | |
| その他 | 0 | 行財政改革課処理欄 | |
| 一般財源 | 4,030 | 行財政改革課処理欄 | |
| 計 | 4,030 | 行財政改革課処理欄 | |

| | | | |
|-----------|--|--|---------------------|
| 地006 | 項目名 | 小さな拠点整備事業費 | 新規事業 |
| 予算書項目 | 新市域特別振興費 | ページ | 173 |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 地域振興課 |
| 会計名 | 事業の概要 | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】 振興係 0857-20-3185 | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】 3202 | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の経過及び背景】 基本的な生活圏の中で分散している様々な生活サービスや地域活動の場などを連携させ、生活を支える新しい地域運営の仕組づくりとして「小さな拠点」の形成を推進している。近年、人口減少や高齢化の進む中山間地域において地域住民が安心して暮らし続けることができる地域づくりを進める中、平成29年度、佐治地域の地域運営組織が「小さな拠点」計画づくりの取組みを行った。 | | |
| 目 企画費 | 【事業の目的及び効果】 小さな拠点の立ち上げや地域運営組織による機能の充実、将来的に活動を担っていくリーダーの育成及び活性化の取組みを支援することにより、持続可能な地域の形成を図る。 | | |
| (単位:千円) | 【事業の内容・実績】 ＜補助金交付＞ 小さな拠点促進支援事業の担い手育成に係る経費を助成する。 ※補助率10/10(県間接補助1/2、市1/2)、補助金上限 3,000千円 | | |
| 前年度当初予算額 | 2,879 | ＜実績＞ 平成29年度 小さな拠点計画づくり支援 510千円 (佐治町小さな拠点事業推進委員会) | |
| 本年度要求額 | 2,686 | 平成30年度 小さな拠点担い手育成支援 2,879千円(見込) (佐治町小さな拠点事業推進委員会) | |
| 総務部長段階査定額 | 2,686 | 行財政改革課処理欄 | |
| 市長段階査定額 | 2,686 | 行財政改革課処理欄 | |
| 区分 | 本年度予算額 | 行財政改革課処理欄 | |
| 国・県支出金 | 1,342 | 行財政改革課処理欄 | |
| 地方債 | 1,300 | 行財政改革課処理欄 | |
| その他 | 0 | 行財政改革課処理欄 | |
| 一般財源 | 44 | 行財政改革課処理欄 | |
| 計 | 2,686 | 行財政改革課処理欄 | |

| | | | |
|-----------|--|--|---------------------|
| 地007 | 項目名 | 地域振興会議運営費 | 新規事業 |
| 予算書項目 | 地域振興会議費 | ページ | 173 |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 地域振興課 |
| 会計名 | 事業の概要 | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】振興係 0857-20-3185 | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】3101 | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の経過及び背景】 平成26年度末をもって終了した地域審議会に代わり、条例に基づき、8地域（新市域）に地域振興会議を設置。 | | |
| 目 企画費 | 【事業の目的及び効果】 本市の一体的な発展に資する対象区域（新市域）の振興を図るため、地域振興会議を設置する。 | | |
| (単位:千円) | 【事業の内容・実績】 ○地域振興会議、会長会の開催 | | |
| 前年度当初予算額 | 6,919 | 1. 地域振興会議 | |
| 本年度要求額 | 7,627 | 8地域の地域振興会議を概ね年8回開催する。 平成28年度 63回（うちブロック会議3回） 平成29年度 62回（うちブロック会議3回） 平成30年度 64回（うちブロック会議3回）（見込） | |
| 総務部長段階査定額 | 6,741 | 2. 会長会 | |
| 市長段階査定額 | 6,741 | 8地域の地域振興会議の情報交換及び先進地視察等研修の実施のため、また本市の一体的な発展を目指す立場で市長と意見交換を行うため、会長会を年2回開催する。 平成28年度 2回 平成29年度 2回 平成30年度 2回（見込） | |
| 区分 | 本年度予算額 | その他財源の内訳 | |
| 国・県支出金 | 0 | 分担金 | 0 |
| 地方債 | 0 | 負担金 | 0 |
| その他 | 0 | 使用料 | 0 |
| 一般財源 | 6,741 | 手数料 | 0 |
| 計 | 6,741 | 財産収入 | 0 |
| | | 寄付金 | 0 |
| | | 繰入金 | 0 |
| | | 雑収入 | 0 |
| | | その他 | 0 |
| 行財政改革課処理欄 | | | |

| | | | |
|-----------|---|---|---------------------|
| 地008 | 項目名 | 市民活動促進事業補助金 | 新規事業 |
| 予算書項目 | 市民活動推進事業費 | ページ | 165 |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 協働推進課 |
| 会計名 | 事業の概要 | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】市民活動係 0857-20-3182 | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】3101 | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の経過及び背景】 ボランティア活動やNPO法人による福祉活動をはじめ、地域における市民の活動が活発となり、行政と市民活動団体との協働が、まちづくりを進める上で重要となっている。 平成23年度から協働事業部門として、市民等からの視点と自由な発想による「まちづくり事業」提案を受け実施する。なお、市民活動促進部門については継続して実施する。 | | |
| 目 一般管理費 | 【事業の目的及び効果】 協働事業部門（行政提案型事業）を継続して実施し、ふるさとを大切に作る心豊かな人づくりを図り、地域の課題解決に市民等と市が共に知恵を出し合いながら、市民が愛着と誇りを持つ住みよいまちづくり（協働のまちづくり）を推進する。市民活動促進部門についても、地域の課題解決や活性化のために行う取り組みとなるよう事業を推進する。 | | |
| (単位:千円) | 【事業の内容・実績】 | | |
| 前年度当初予算額 | 1,400 | [市民活動促進部門] 創造的な市民活動事業 補助率 10/10 補助限度額 10万円 公益的な自主事業 補助率 4/5 補助限度額 20万円 | |
| 本年度要求額 | 1,400 | [協働事業部門] 行政提案型事業 補助率 10/10 補助限度額 40万円 (市が示すテーマに沿った事業) | |
| 総務部長段階査定額 | 1,400 | <実績> | |
| 市長段階査定額 | 1,400 | 平成28年度 公益的な自主事業 7団体 797千円 | |
| 区分 | 本年度予算額 | [協働事業部門（行政提案型事業）] 2団体 658千円 | |
| 国・県支出金 | 280 | 公益的な自主事業 4団体 675千円 | |
| 地方債 | 0 | [協働事業部門（行政提案型事業）] 2団体 800千円 | |
| その他 | 0 | 平成29年度 公益的な自主事業 1団体 200千円 | |
| 一般財源 | 1,120 | 平成30年度 公益的な自主事業 [協働事業部門（行政提案型事業）] 1団体 400千円 | |
| 計 | 1,400 | (見込) | |
| 行財政改革課処理欄 | | | |

| | | | |
|-----------|--|--|---------------------|
| 地009 | 項目名 | 鳥取市自治連合会補助金 | 新規事業 |
| 予算書項目 | 地域振興費 | ページ | 177 |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 協働推進課 |
| 会計名 | 事業の概要 | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】市民活動係 0857-20-3182 | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】3101 | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の経過及び背景】 | | |
| 目 諸費 | 鳥取市自治連合会は昭和49年に連合組織として結成され、平成16年の市町村合併後、平成19年6月には市内各地域の自治組織が合併統合し、以後、住民組織の相互連絡、福利増進を進めることで市政発展に大きく寄与してきた。近年では少子高齢化や核家族化の進行、個人の価値観やライフスタイルの多様化などにより地域のつながりの希薄化が進んでいる。今後も災害時をはじめとしたさまざまな分野において地域コミュニティは重要な役割を担っていくものと考えており、市自治連合会、公益社団法人鳥取県宅地建物取引業協会、本市の3者が平成30年9月に自治会への加入促進に関する協定を締結したところである。 | | |
| (単位:千円) | 【事業の目的及び効果】 | | |
| 前年度当初予算額 | 71,148 | 住民自治の基本である鳥取市自治連合会の活動を支援することにより、市政運営を円滑に進めることができ、市政にとって多大な効果をあげている。 | |
| 本年度要求額 | 71,402 | 【事業の内容・実績】 | |
| 総務部長段階査定額 | 71,292 | 住民自治の基本である鳥取市自治連合会の活動を支援することにより、市政運営を円滑に進める。平成22年度より、均等割35,000円、世帯割700円の統一制度としている。 | |
| 市長段階査定額 | 71,292 | 平成28年度 活動補助金66,006千円(833町内会、52,745世帯) 運営補助金 4,174千円(全自連川越大会等参加及び事務局運営費等) | |
| 区分 | 本年度予算額 | 平成29年度 活動補助金65,959千円(833町内会、52,578世帯) 運営補助金 4,928千円(事務局運営費及び加入促進事業費等) | |
| 国・県支出金 | 1,832 | 平成30年度 活動補助金66,150千円(833町内会、52,850世帯) (見込) 運営補助金 4,998千円(事務局運営費及び加入促進事業費等) | |
| 地方債 | 0 | ※その他財源の繰入金は、地域振興基金繰入金。 | |
| その他 | 338 | | |
| 一般財源 | 69,122 | | |
| 計 | 71,292 | | |
| 行財政改革課処理欄 | | | |

| | | | |
|-----------|---|---|---------------------|
| 地010 | 項目名 | 自治会活動活性化支援事業費 | 新規事業 |
| 予算書項目 | 地域振興費 | ページ | 177 |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 協働推進課 |
| 会計名 | 事業の概要 | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-20-3171 | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】3101 | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の経過及び背景】 | | |
| 目 諸費 | 旧補助事業(自治会活動活性化支援事業)は、各自治会活動の活性化支援を目的として、合併協議会において事業決定され、平成17年度から5年間実施したところである。この事業については、地域からの要望も高く、今後も引き続きコミュニティの充実強化を図るため、地域力向上のための活動に、より活用していただけるよう平成22年度から補助率、限度額を見直し実施している。 | | |
| (単位:千円) | 【事業の目的及び効果】 | | |
| 前年度当初予算額 | 15,000 | 住民の自主性及び主体性に基づいた町内会等による地域活動を支援することにより、地域コミュニティの充実・強化を図り、住民と行政との協働のまちづくりの実現に資することを目的とする。 | |
| 本年度要求額 | 15,000 | 【事業の内容・実績】 | |
| 総務部長段階査定額 | 15,000 | 地域コミュニティの推進につながる住民の多数が参加する次の事業 | |
| 市長段階査定額 | 15,000 | ・運動会等のスポーツ活動 | |
| 区分 | 本年度予算額 | ・地域内の文化的な活動 | |
| 国・県支出金 | 0 | ・町内案内板等の町内会が所有、管理する設備の整備 など | |
| 地方債 | 0 | ※補助率 3/4 限度額3万円(平成21年度までは補助率1/2 限度額5万円) | |
| その他 | 0 | 平成28年度事業実績数 506町内会 交付額 14,809千円 | |
| 一般財源 | 15,000 | 平成29年度事業実績数 504町内会 交付額 14,638千円 | |
| 計 | 15,000 | 平成30年度事業実績数 510町内会 交付額 14,892千円(見込) | |
| 行財政改革課処理欄 | | | |

| | | | | |
|-----------|--|--|-----|------|
| 地011 | 項目名 | コミュニティ支援事業費 | | 新規事業 |
| 予算書項目 | 地域振興費 | ページ | 177 | 所属名 |
| 年度 | H31 | 企画推進部地域振興局 協働推進課 | | |
| 会計名 | 事業の概要 | | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-20-3171 | | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】3101 | | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の経過及び背景】 | | | |
| 目 諸費 | 鳥取市は、平成20年度から地域と行政が適切な協力関係で支え合う「市民と行政による協働のまちづくり」の実現を目指し、各種の取り組みを進めている。 現在、各地区においては、「まちづくり協議会」を中心にして、地域コミュニティの充実・強化の取組が進められている。 | | | |
| (単位:千円) | 【事業の目的及び効果】 | | | |
| 前年度当初予算額 | 28,156 | まちづくり協議会の運営及び地域コミュニティ計画による地域の身近な課題解決に向けた地域力向上の取り組みを支援することにより、地域コミュニティの充実・強化を図り、住民と行政との協働のまちづくりの実現に資することを目的とする。 | | |
| 本年度要求額 | 28,696 | 【事業の内容・実績】 | | |
| 総務部長段階査定額 | 28,696 | (1) 人的支援 | | |
| 市長段階査定額 | 28,696 | ・コミュニティ支援チームによる地域コミュニティの充実・強化 ・「まちづくり協議会」の組織化に伴う嘱託職員の増員 | | |
| 区分 | 本年度予算額 | (2) 財政的支援(地域コミュニティ育成支援事業による財政支援) | | |
| 国・県支出金 | 5,040 | H28 H29 H30(見込) | | |
| 地方債 | 0 | ・まちづくり協議会運営助成事業 3,000千円 3,050千円 3,050千円 (補助率10/10 補助限度額5万円) (60地区) (61地区) (61地区) | | |
| その他 | 0 | ・協働のまちづくり助成事業 21,907千円 22,896千円 23,351千円 (補助率4/5 補助限度額40万円) (56地区) (59地区) (60地区) | | |
| 一般財源 | 23,656 | ・協働のまちづくり特別支援事業 1,600千円 800千円 800千円 (補助率10/10 補助限度額80万円) (2地区) (1地区) (1地区) | | |
| 計 | 28,696 | ※平成31年度は、希望される地区のまちづくり協議会に対し、地区公民館の運営に関する事務費等も含めた補助金の一括交付を試行的に実施する。(3地区実施予定) | | |
| 行財政改革課処理欄 | | | | |

| | | | | |
|-----------|---|--|-----|------|
| 地012 | 項目名 | 地域コミュニティ除雪活動支援事業費 | | 新規事業 |
| 予算書項目 | 地域振興費 | ページ | 177 | 所属名 |
| 年度 | H31 | 企画推進部地域振興局 協働推進課 | | |
| 会計名 | 事業の概要 | | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-20-3171 | | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】3101 | | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の経過及び背景】 | | | |
| 目 諸費 | 平成29年1月から2月の大雪により、町内会等は生活道路の除雪活動に自主的に取り組んだ。このような中、町内会等が実施する除雪活動にかかる費用が例年に比較し高額となり、地域コミュニティにおいて大きな負担となった。 平成28年度は臨時的な支援を行ったが、大雪に対する市民生活の安全・安心確保のため、平成29年度から恒常的かつ面的な支援制度を整備している。 | | | |
| (単位:千円) | 【事業の目的及び効果】 | | | |
| 前年度当初予算額 | 11,389 | 大雪時に町内会等が生活道路確保のため自主的に除雪活動を行うに当たり、その経費の一部を支援することで、地域コミュニティ活動の下支えを行うとともに、市民との協働による除雪対策の一助とする。 | | |
| 本年度要求額 | 11,392 | 【事業の内容・実績】 | | |
| 総務部長段階査定額 | 8,392 | 大雪時に、町内会等が自主的に取り組む除雪活動を支援する | | |
| 市長段階査定額 | 8,392 | 《発動の条件》 | | |
| 区分 | 本年度予算額 | 鳥取市(北部または南部)に大雪注意報が発表されたとき | | |
| 国・県支出金 | 1,447 | 《補助対象経費》 | | |
| 地方債 | 800 | 町内会等が自主的に行う除雪活動に係る経費 | | |
| その他 | 0 | 《補助率等》 | | |
| 一般財源 | 6,145 | 補助率 4分の3 | | |
| 計 | 8,392 | 補助限度額 5万円 | | |
| 行財政改革課処理欄 | 《事業実績》 平成29年度事業実績数 272町内会 交付額 4,679,600円 | | | |

| | | | |
|-----------|--------------|--|---------------------|
| 地013 | 項目名 | 町内集会所建設等補助金 | 新規事業 |
| 予算書項目 | 町内会集会所建設等補助金 | ページ | 177 |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 協働推進課 |
| 会計名 | 一般会計 | 事業の概要 | |
| 款 | 総務費 | 【問合せ先】市民活動係 0857-20-3182 | |
| 項 | 総務管理費 | 【10次総の施策体系】3101 | |
| 目 | 諸費 | 【事業の経過及び背景】 集会所（町内会の集会所）については、自治会が自主的に建設（取得）している。本事業はコミュニティ活動の基盤となる集会所建設を支援するため、平成3年度から実施している。また、平成27年度から新規に冷暖房設備を設置する場合も補助対象としている。 | |
| (単位:千円) | | 【事業の目的及び効果】 町内会のコミュニティの場である集会所の建設や改修に対して助成することにより、地域コミュニティの醸成を図ることで、地域の活性化を促進する。 さらに、平成20年度から集会所施設の賃借料に対しても補助金を交付し、集会所取得が困難な町内会であってもコミュニティ活動拠点が確保されるよう、市として支援する。 | |
| 前年度当初予算額 | 21,680 | 【事業の内容・実績】 集会所の建築・改修等及び賃借料に対して、対象経費の1/3、上限1000万円の補助金を交付する。 平成28年度 34,957千円（新築3件、改築等17件、賃借4件、冷暖房施設新規整備3件 計27町内会） 平成29年度 18,864千円（新築2件、改築等13件、賃借4件、冷暖房施設新規整備11件 計30町内会） 平成30年度 37,880千円（新築5件、改築等15件、賃借3件、冷暖房施設新規整備8件 計31町内会） | |
| 本年度要求額 | 20,237 | | |
| 総務部長段階査定額 | 20,237 | 【事業の内容・実績】 | |
| 市長段階査定額 | 20,237 | 集会所の建築・改修等及び賃借料に対して、対象経費の1/3、上限1000万円の補助金を交付する。 | |
| 区分 | 本年度予算額 | 平成28年度 34,957千円（新築3件、改築等17件、賃借4件、冷暖房施設新規整備3件 計27町内会） | |
| 国・県支出金 | 0 | 平成29年度 18,864千円（新築2件、改築等13件、賃借4件、冷暖房施設新規整備11件 計30町内会） | |
| 地方債 | 0 | 平成30年度 37,880千円（新築5件、改築等15件、賃借3件、冷暖房施設新規整備8件 計31町内会） | |
| その他 | 0 | | |
| 一般財源 | 20,237 | | |
| 計 | 20,237 | | |
| 行財政改革課処理欄 | | | |

| | | | |
|-----------|------------|--|---------------------|
| 地014 | 項目名 | 地区公民館改修等事業費 | 新規事業 |
| 予算書項目 | 地区公民館施設管理費 | ページ | 295 |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 協働推進課 |
| 会計名 | 一般会計 | 事業の概要 | |
| 款 | 教育費 | 【問合せ先】地区公民館係 0857-20-3172 | |
| 項 | 社会教育費 | 【10次総の施策体系】3101 | |
| 目 | 公民館費 | 【事業の経過及び背景】 地区公民館は、地域住民の生涯学習及び地域コミュニティの拠点として重要な役割を果たす施設である。しかし、建築後数十年経過した施設においては、施設の老朽化や時代の流れとともに変化するニーズに対応できなくなっており、利用者からも施設の改善が求められているため、計画的に改修を進めていく必要がある。 | |
| (単位:千円) | | 【事業の目的及び効果】 地区公民館施設の改善を図ることで、地域住民が気軽に集い、生涯学習事業やコミュニティ活動が円滑に実施できる環境を整えることを目的としている。 | |
| 前年度当初予算額 | 7,623 | 【事業の内容・実績】 ・旧地区公民館解体及び駐車場整備工事（津ノ井） ・旧地区公民館解体設計（日置谷、小鷲河） | |
| 本年度要求額 | 235,997 | <実績> 平成28年度 1階トイレ改修（稲葉山、酒津） 平成29年度 なし 平成30年度 谷地区公民館移転改修、八上地区公民館2階トイレ設置 | |
| 総務部長段階査定額 | 55,623 | | |
| 市長段階査定額 | 55,623 | | |
| 区分 | 本年度予算額 | | |
| 国・県支出金 | 0 | | |
| 地方債 | 41,300 | | |
| その他 | 0 | | |
| 一般財源 | 14,323 | | |
| 計 | 55,623 | | |
| 行財政改革課処理欄 | | | |

| | | | |
|-----------|------------|--|---------------------|
| 地015 | 項目名 | 地区公民館新築事業費 | 新規事業 |
| 予算書項目 | 地区公民館新築事業費 | ページ | 299 |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 協働推進課 |
| 会計名 | 一般会計 | 事業の概要 | |
| 款 | 教育費 | 【問合せ先】地区公民館係 0857-20-3172 | |
| 項 | 社会教育費 | 【10次総の施策体系】3101 | |
| 目 | 社会教育施設建設費 | 【事業の経過及び背景】 地区公民館は、地域住民の生涯学習及び地域コミュニティの拠点として重要な役割を果たす施設である。市内62箇所に設置する地区公民館は、築後30年以上経過した建物が多く、今後施設の維持修繕を行いながら使用し、更新時期を見極め計画的に建替えを行っていく必要がある。 また、旧耐震基準で建設され、耐震診断調査でも補強が必要とされている建物については、建物の老朽具合等に応じて改修ではなく建替えを行っていく。 | |
| (単位:千円) | | 【事業の目的及び効果】 地区公民館を新築することにより、現状の課題を解消し生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として充実を図ることで、利用者が安全かつ快適に使用することができる。 | |
| 前年度当初予算額 | 66 | 【事業の内容・実績】 ・城北地区公民館（新築工事、外構工事、用地取得、備品購入） ・成器地区公民館（新築工事、備品購入） | |
| 本年度要求額 | 689,698 | <実績> 平成28年度 新築工事（西郷・中郷）、新築設計（小鷲河・日置谷） 平成29年度 新築工事（小鷲河・日置谷・西郷）、新築設計（津ノ井） 平成30年度 新築工事（津ノ井）、新築設計（城北・成器） | |
| 総務部長段階査定額 | 689,618 | その他財源の内訳 | |
| 市長段階査定額 | 689,618 | 分担金 | 0 |
| | | 負担金 | 0 |
| | | 使用料 | 0 |
| | | 手数料 | 0 |
| | | 財産収入 | 0 |
| | | 寄付金 | 0 |
| | | 繰入金 | 0 |
| | | 贈収入 | 0 |
| | | その他 | 0 |
| | | 計 | 689,618 |
| 行財政改革課処理欄 | | | |

| | | | |
|-----------|--------|---|-----------------------|
| 地016 | 項目名 | 市民相談費 | 新規事業 |
| 予算書項目 | 市民相談費 | ページ | 165 |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 市民総合相談課 |
| 会計名 | 一般会計 | 事業の概要 | |
| 款 | 総務費 | 【問合せ先】市民総合相談課 0857-20-3158 | |
| 項 | 総務管理費 | 【10次総の施策体系】3101 | |
| 目 | 一般管理費 | 【事業の経過及び背景】 市民からの市政に関する問合せ、陳情・要望へ対応するほか、弁護士による無料法律相談などを実施している。 また、市の業務全般に関する問題解決を図る窓口として、「市民総合相談窓口」を設置し、市政、事業・制度等について、広く相談の対応にあたっている。 | |
| (単位:千円) | | 【事業の目的及び効果】 市民が抱える問題や行政に対する要望などについて、関係課と連携した対応を行うとともに、無料法律相談の開設などにより、安心して暮らせる市民生活の確保を図る。 | |
| 前年度当初予算額 | 11,832 | 【事業の内容・実績】 | |
| 本年度要求額 | 1,481 | <<市民相談>> ■平成28年度 709件 ■平成29年度 905件 ■平成30年度 900件（見込） | |
| 総務部長段階査定額 | 1,480 | <<無料法律相談>> ■平成28年度 214名 ■平成29年度 209名 ■平成30年度 210名（見込） | |
| 市長段階査定額 | 1,480 | <<市政提案>> ■平成28年度 141件 ■平成29年度 128件 ■平成30年度 130件（見込） | |
| | | <<陳情・要望>> ■平成28年度 85件 ■平成29年度 106件 ■平成30年度 90件（見込） | |
| | | その他財源の内訳 | |
| | | 分担金 | 0 |
| | | 負担金 | 0 |
| | | 使用料 | 0 |
| | | 手数料 | 0 |
| | | 財産収入 | 0 |
| | | 寄付金 | 0 |
| | | 繰入金 | 0 |
| | | 贈収入 | 0 |
| | | その他 | 0 |
| | | 計 | 1,480 |
| 行財政改革課処理欄 | | | |

| | | | |
|-----------|---|--|-----------------------|
| 地017 | 項目名 | くらし110番相談事業費 | 新規事業 |
| 予算書項目 | 市民相談費 | ページ | 165 |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 市民総合相談課 |
| 会計名 | 事業の概要 | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】市民総合相談課 0857-20-3862 | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】4103 | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の経過及び背景】 平成16年5月に市民生活におけるトラブルなどの相談窓口として、くらし110番相談室を本庁舎に設置した。設置当初より鳥取県行政書士会の加盟会員を主な構成員とする、「特定非営利活動法人 市民の生活権利擁護センターうさぎの耳」に業務を委託。平成18年1月、駅南庁舎にも設置した。 | | |
| 目 一般管理費 | 【事業の目的及び効果】 くらし110番相談窓口は平成16年5月に設置して以来、市民生活におけるトラブル等の相談窓口としてニーズが高く、年間相談実績は1,000件を超え近年増加傾向にある。くらし110番の相談員は、全ての相談に対し問題の解決方法を一緒に考えたり、解決に繋がる窓口を案内しており、市民の安全な日常生活の確保に大きく貢献している。 | | |
| (単位:千円) | 【事業の内容・実績】 | | |
| 前年度当初予算額 | 4,331 | <駅南庁舎> 面談・電話相談 平日 8時30分～17時15分 <本庁舎> 面談・電話相談 月・金 13時00分～17時00分 <携帯電話による相談> 電話相談 平日 17時15分～22時00分 閉庁日 8時30分～22時00分 <実績> 平成28年度相談件数 1,030件 平成29年度相談件数 1,058件 平成30年度相談件数 1,000件(見込) | |
| 本年度要求額 | 3,744 | | |
| 総務部長段階査定額 | 3,744 | 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0 | |
| 市長段階査定額 | 3,744 | | |
| 区分 | 本年度予算額 | | |
| 財源内訳 | 国・県支出金 | 0 | |
| | 地方債 | 0 | |
| | その他 | 0 | |
| | 一般財源 | 3,744 | |
| | 計 | 3,744 | |
| 行財政改革課処理欄 | | | |

| | | | |
|-----------|---|---|-----------------------|
| 地018 | 項目名 | 消費生活対策費 | 新規事業 |
| 予算書項目 | 消費生活対策費 | ページ | 165 |
| 年度 | H31 | 所 属 名 | 企画推進部地域振興局 市民総合相談課 |
| 会計名 | 事業の概要 | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】消費生活センター(市民総合相談課) 0857-20-3861 | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】4103 | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の経過及び背景】 平成21年5月に消費生活に関するトラブルや消費者被害などの相談窓口として「消費生活相談窓口」を設置。平成26年6月の消費者安全法の改正を受け、平成28年4月に「消費生活センター」の組織と運営等に関する条例を制定し、センターを設置してより一層の消費者施策の推進を図るとともに、「鳥取市消費者教育推進計画」を策定し、消費者教育を推進し、消費者の自立支援、消費者市民社会の構築を図っている。 | | |
| 目 一般管理費 | 【事業の目的及び効果】 消費生活に関するトラブルなどの相談と被害の救済を図るとともに、消費者教育を推進し、自立した消費者の育成と、安全安心で持続可能な消費者市民社会の構築を図る。 | | |
| (単位:千円) | 【事業の内容・実績】 | | |
| 前年度当初予算額 | 12,596 | (1) 相談事業 ・消費生活相談の受付、助言・あっせん、弁護士会と連携した相談対応 (2) 消費者教育・啓発事業 ・鳥取市消費者教育推進計画に基づく取組みの推進 ・悪質商法などに関する「消費者啓発出前講座」「消費者啓発講演会」の実施 ・地域と連携した総合的な消費者教育イベントの開催 ・若年者を対象とした消費者教育の推進 (3) 地域と連携した被害拡大(未然防止)防止事業 ・消費者啓発寸劇委託事業 ・地域見守りネットワークの構築 ・消費者啓発落語講座補助事業 <相談件数> <センター関与被害救済額> ※多重債務相談を除く。 平成28年度 733件 23,863千円(被害把握金額 27,854千円) 平成29年度 1,109件 17,623千円(被害把握金額 20,926千円) 平成30年度 1,100件(見込) | |
| 本年度要求額 | 11,951 | ※その他財源の諸収入は、金融広報委員会奨励事務助成費。 | |
| 総務部長段階査定額 | 11,939 | 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 209 その他 0 | |
| 市長段階査定額 | 11,939 | | |
| 区分 | 本年度予算額 | | |
| 財源内訳 | 国・県支出金 | 3,597 | |
| | 地方債 | 0 | |
| | その他 | 209 | |
| | 一般財源 | 8,133 | |
| | 計 | 11,939 | |
| 行財政改革課処理欄 | | | |

| | | | | |
|-----------|--|---|-----|-------|
| 地019 | 項目名 | コールセンター設置運営費 | | 新規事業 |
| 予算書項目 | 市民サービス費 | ページ | 165 | 所 属 名 |
| 年度 | H31 | 企画推進部地域振興局 市民総合相談課 | | |
| 会計名 | 事業の概要 | | | |
| 一般会計 | 【問合せ先】市民総合相談課 0857-20-3862 | | | |
| 款 総務費 | 【10次総の施策体系】5101 | | | |
| 項 総務管理費 | 【事業の経過及び背景】 | | | |
| 目 一般管理費 | 新庁舎建設推進本部でのコールセンター設置決定を受けて、平成30年度に本市の現状に合ったコールセンターの整備方針を基本計画として作成した。これに基づいて、全庁的な業務について、市民から電話・FAX・メールにより寄せられる問合せ等を一元的に受け付け、FAQ等により一次応答等を行う「鳥取市コールセンター」を開設することにより、市民サービスの向上に取り組むとともに、各課業務の効率化及び市民ニーズの把握・分析により市政への反映を図る。 | | | |
| (単位:千円) | 【事業の目的及び効果】 | | | |
| 前年度当初予算額 | 5,140 | コールセンターを設置することで、市民からの電話等による問合せに対して、専任のオペレーターが、FAQを基に回答することで、窓口の一元化と応答対応の標準化を図る。また、平日時間外・休日の応答を行うことで、市民サービスの向上につなげるとともに、職員の電話対応業務の効率化を図る。さらに多言語サービスを導入することで、在留外国人、外国人観光客への対応体制を充実する。 | | |
| 本年度要求額 | 67,381 | 【事業の内容】 | | |
| 総務部長段階査定額 | 67,377 | ①コールセンター構築業務：コールセンター機能に必要な人的体制整備と育成研修実施、FAQシステム・対応履歴管理システム等の関連システムの整備、電話機器整備及び回線・ネットワークの構築等を行う。 | | |
| 市長段階査定額 | 67,377 | ②コールセンター運営業務：代表電話交換業務のほか、市民からの電話・FAX・メールによる問合せ等に対して、FAQを基に回答する。また、災害時等の緊急業務対応のほか、定期の報告協議と運営管理を行う。 | | |
| 区分 | 本年度予算額 | 【今後の取り組み】 | | |
| 財源内訳 | | 新本庁舎建設に係る広報と協調しながら、市民へのコールセンター設置の周知を行うとともに、平成31年11月に本運用開始を予定している。 | | |
| 国・県支出金 | 0 | 行財政改革課処理欄 | | |
| 地方債 | 0 | | | |
| その他 | 0 | | | |
| 一般財源 | 67,377 | | | |
| 計 | 67,377 | | | |